

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2014年第51号(週報)

2014年第51週(12月15日~12月21日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

一 インフルエンザ : 和歌山市、岩出保健所管内で注意報レベル!! 一

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は6.86人(前週:3.04人)と大きく増加しました。

保健所別では和歌山市、岩出保健所管内で注意報レベル基準値を超えました。

和歌山県は例年より早く流行期に入っており、今後も患者報告数が増加し、1~3月にかけて流行のピークを迎えると思われますので注意してください。

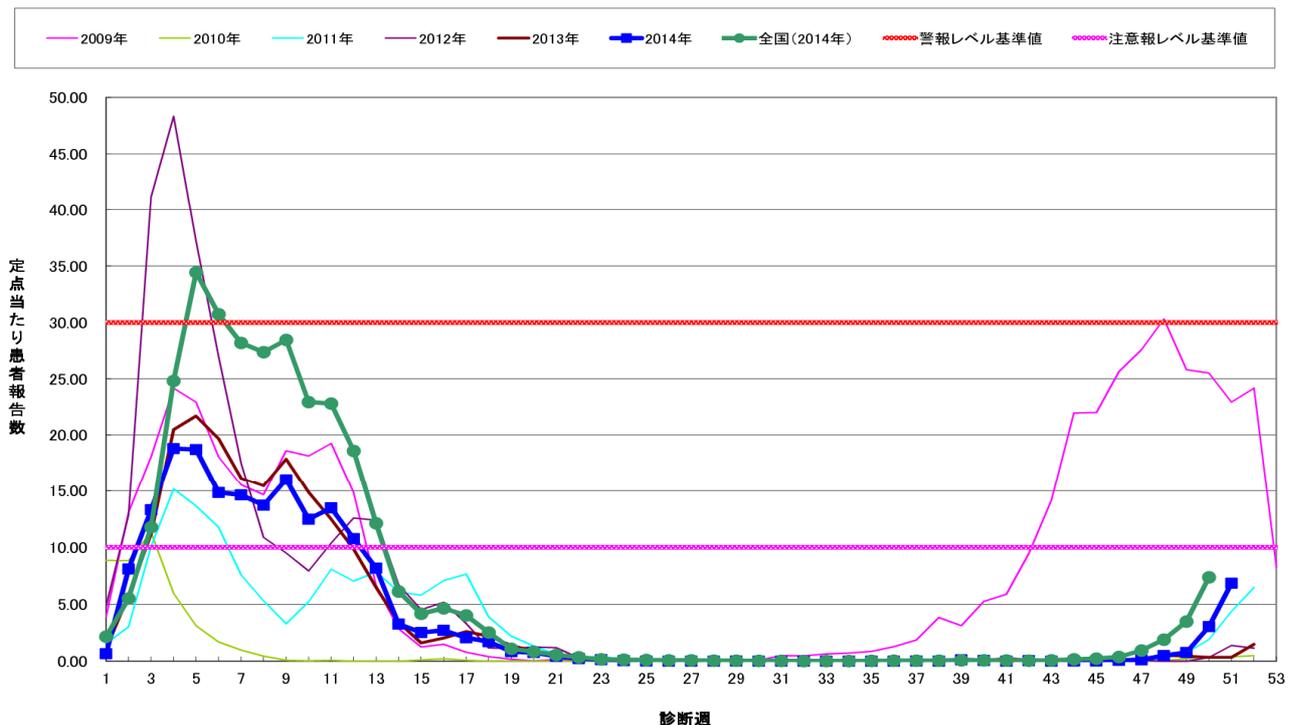
全国的にも定点当たりの患者報告数は大きく増加し、流行期に入っています。(第50週:7.38人)

感染を予防するために、予防接種を受けたり、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

インフルエンザに関する説明はこちら:(厚生労働省HP)

(http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html)

インフルエンザ(和歌山県全体)



— **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎** : 過去5年間の同時期に比べ非常に多い!! —

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴う細菌性の感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.94人（前週：1.81人）と少し増加しました。過去5年間の同時期に比べ非常に多い状況が続いていますので注意してください。

保健所別では、湯浅保健所管内が4.00人（前週：2.33人）と最も多くなっています。

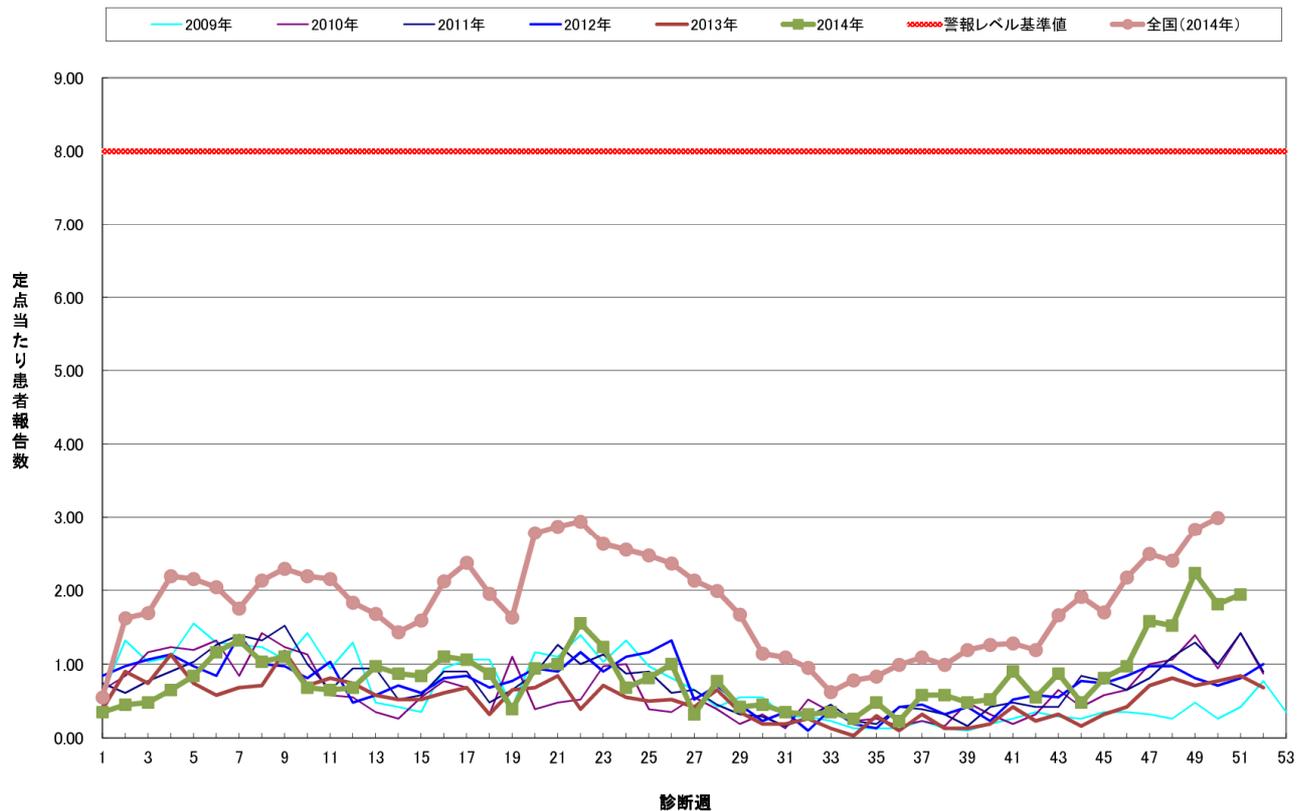
全国的にも患者報告数は増加し、過去5年間の同時期に比べ多い状況が続いています。（第50週：2.99人）

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、手洗い、うがいを徹底し、感染者とのタオルの共有は避ける等、予防に努めましょう。また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(和歌山県全体)



ー RSウイルス感染症 ： 過去5年間の同時期に比べやや多い！！ ー

RSウイルス感染症はRSウイルスを原因とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ100%の子供が初感染を受けるとされています。また、生涯にわたり感染を繰り返す感染症です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.77人（前週：0.97人）と大きく増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。

保健所別では、御坊保健所管内が6.00人（前週：4.50人）と最も多くなっています。

全国的には患者報告数は増加し、過去5年間の同時期に比べ非常に多い状況です。（第50週：8180人）

主な感染経路は飛沫感染と接触感染であることから、感染予防対策としては手洗い、うがいが基本です。

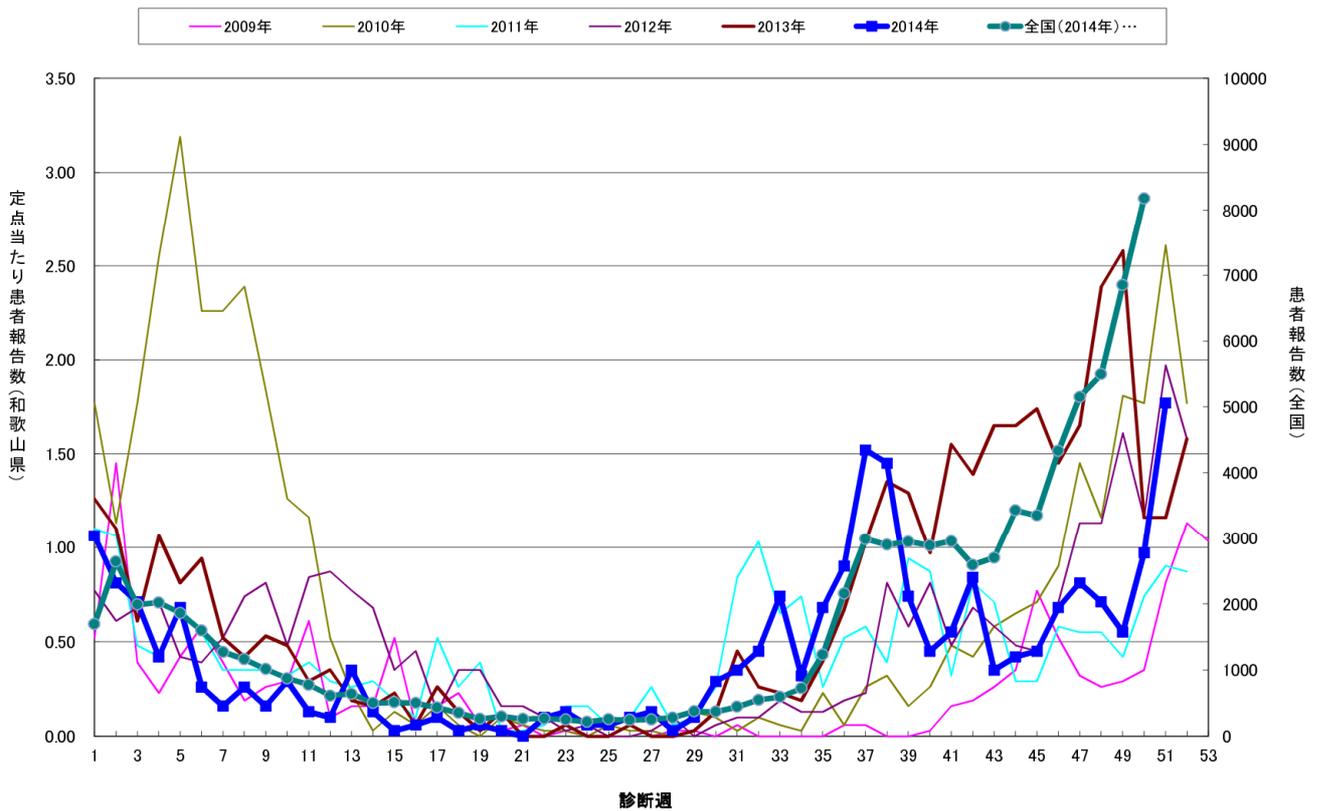
また、せきの症状がある場合はマスクを着用する等、せきエチケットを心がけてください。

なお、RSウイルス感染症に警報・注意報レベル基準値は設定されていません。

RSウイルス感染症の詳しい説明はこちら：(厚生労働省HP)

(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_ga.html)

RSウイルス感染症



風しんワクチン接種に対する助成制度について

和歌山県では、県内の19歳以上50歳未満の妊娠を希望する女性と妊婦の夫を対象とした風しんワクチン接種費用の助成をおこなっています。

詳しくは、現在お住まいの各市町村の保健福祉関係課へお問い合わせください。

助成期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 2名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：つつが虫病 1名
 - 5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症播種性 1名、クリプトコックス症 1名

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	204
腸管出血性大腸菌感染症	12
E型肝炎	1
A型肝炎	5
重症熱性血小板減少症候群	2
つつが虫病	10
デング熱	1
日本紅斑熱	34
レジオネラ症	4
レプトスピラ症	1
アメーバ赤痢	2
ウイルス性肝炎	2
急性脳炎	1
クロイツフェルト・ヤコブ病	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5
後天性免疫不全症候群	3
侵襲性インフルエンザ菌感染症	6
侵襲性肺炎球菌感染症	8
水痘(入院例)	6
梅毒	10
播種性クリプトコックス症	1
破傷風	2
風しん	1
麻しん	26
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

ありません。

注意報レベル

インフルエンザ(和歌山市保健所管内、岩出保健所管内)

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	343	-	5	6	11	7	12	21	13	16	13	31	141	17	10	14	13	5	3	1	4
	定当	6.86	-	0.1	0.12	0.22	0.14	0.24	0.42	0.26	0.32	0.26	0.62	2.82	0.34	0.2	0.28	0.26	0.1	0.06	0.02	0.08

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	55	10	12	13	7	3	7	1	1	-	-	1	-	-	-
	定当	1.77	0.32	0.39	0.42	0.23	0.1	0.23	0.03	0.03	-	-	0.03	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	9	-	-	-	3	1	2	-	1	1	1	-	-	-	-
	定当	0.29	-	-	-	0.1	0.03	0.06	-	0.03	0.03	0.03	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	60	-	-	2	2	4	8	13	7	9	4	2	9	-	-
	定当	1.94	-	-	0.06	0.06	0.13	0.26	0.42	0.23	0.29	0.13	0.06	0.29	-	-
感染性胃腸炎	報告	198	3	10	22	22	23	36	25	21	5	7	6	14	-	4
	定当	6.39	0.1	0.32	0.71	0.71	0.74	1.16	0.81	0.68	0.16	0.23	0.19	0.45	-	0.13
水痘	報告	26	-	-	2	2	3	7	6	3	2	1	-	-	-	-
	定当	0.84	-	-	0.06	0.06	0.1	0.23	0.19	0.1	0.06	0.03	-	-	-	-
手足口病	報告	37	-	-	3	9	3	8	4	5	2	3	-	-	-	-
	定当	1.19	-	-	0.1	0.29	0.1	0.26	0.13	0.16	0.06	0.1	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	11	2	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.35	0.06	0.13	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	3	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	-	-	0.03	0.03	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	158	4	81	52	30	10	6	2	-
	定当	10.53	1.33	13.5	8.67	6	3.33	0.86	0.67	-
RSウイルス感染症	報告	18	2	8	4	3	12	6	2	-
	定当	2	1	2	1	1	6	1.5	1	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	1	1	-	1	4	1	-
	定当	0.11	-	0.25	0.25	-	0.5	1	0.5	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	13	3	10	10	12	-	12	-	-
	定当	1.44	1.5	2.5	2.5	4	-	3	-	-
感染性胃腸炎	報告	95	15	47	14	15	2	-	8	2
	定当	10.56	7.5	11.75	3.5	5	1	-	4	2
水痘	報告	17	1	2	3	-	1	2	-	-
	定当	1.89	0.5	0.5	0.75	-	0.5	0.5	-	-
手足口病	報告	23	-	4	10	-	-	-	-	-
	定当	2.56	-	1	2.5	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	3	2	4	1	-	1	-	-	-
	定当	0.33	1	1	0.25	-	0.5	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	2	-	-	-	-	-	-	1	-
	定当	0.22	-	-	-	-	-	-	0.5	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	1	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	2	4	1	…
	定当	-	…	-	-	-	2	2	1	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

和歌山県感染症情報（WIDR）2014年第51号

発行日：平成26年12月25日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生动向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。